

ほっと越谷 ブックサロン

平成 28 度 第 2 回 ほっと越谷ブックサロン「読書の河から砂金を探せ No2」を開催しました♪♪

開催日 2017年1月22日(日) 13:30~15:30

参加者 15人(女性9人、男性6人)

ほっと越谷で公募した市民企画委員が、ほっと越谷の所蔵本を多くの市民に知っていただくための事業として、今年度第2回目のブックサロンを開催しました。7人の委員が当日の司会、受付を担当しました。

ブックサロンのテーマは前回同様の「読書の河から砂金を探せ」でした。

参加者がひとり5分程度で8冊の本を紹介し、紹介の言葉をホワイトボードに書いて参加者がわかりやすいように工夫しました。本の紹介後、参加者で自由に意見交換をしました。

参加者が「読書の河から砂金を探せ No2」として紹介した本

『おとなが育つ条件』／『醤油と薔薇の日々』／『詩集 げっ歯類の憂鬱』

『ぶたばあちゃん』／『三浦家の居間で 三浦綾子-その生き方にふれて』

『ルポ 同性カップルの子どもたち アメリカ「ゲイビーム」を追う』

『女たちが動く 東日本大震災と男女共同参画視点の支援』

『お金さえあればいい? 子どもと考える経済のはなし』

※所蔵本以外の本の紹介もありました。

参加者の感想

- 自分が今まで読まなかった本を知ることができて、意見交換もいろいろな話に広がりよかった
- 参加された方々の選んだ本と、その理由をお聞きできて、とても楽しかった
- 普段出逢えなかった出逢いが、本にも、人にもできたことがよかった
- 話が多岐にわたってしまい、頭が混乱しました。発表者をもっと減らして、もっとお互いに考えを深めていけたらよかったと思います

